

讃岐香川の様々な文化発展を応援します。

2015

冬

12月1日発行(季刊)

文化通心



人形芝居の明日を探る！

高知は春野町に端を発した西畑人形芝居の三代目朝日若輝を継がれた池原由起夫さんは、香川町の出身。現在は三木町にある木偶塾の塾頭として、個性あふれる人形を造り続け、次代を担う子ども達に人形劇の楽しさを伝える。また人形と共に世界を周り、人形芝居の素晴らしさを確信する。意気盛んな笑顔が眩しい。

あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」

人形劇研修所木偶塾

12月から2月までの茶華道・イベント情報

財団の活動報告とお知らせ

88

発行・公益財団法人中條文化振興財団
〒760-0017高松市番町2丁目1番12号
TEL.(087) 826-3355 FAX.(087) 826-2212

あ・うんの数寄講座

茶の湯をさらに楽しむ夏期講習

茶の湯の文化を切り口に、理解を深めたいと企画しました「茶の湯をさらに楽しむ夏期講習」の後半は、いよいよ古筆の読み方と禅語についての講義です。茶の湯は禅の修行に似ているとおっしゃった利休居士に倣って、ご参加の皆様も真剣に取り組まれました。講師の皆様にも一日に二回の講義を務めてくださいまして、感謝申し上げます。また、今回は講座に参加されたお二人にご報告頂きました。

■第四回 八月二十三日(日) 「古筆の読み方と観賞のしかた」

講師：名児耶明
(五島美術館 副館長兼学芸部長)



古筆は、単に古代の筆跡という意味ではなく、平安時代から鎌倉時代にかけて書かれた日本人らしい感覚の名筆のことで、古くから茶人達にも愛好されていきます。見ればだいたいが「なんて書いてあるの?」ってなりますよね。読めるようになったらお茶会がもっと楽しめるかもそんな思いで夏の講習会に参加させていただきました。

日本に漢字が渡りてきたのは紀元前。弥生時代の土器から見つかった「貸泉」、「漢委奴國王」の金印がそれにあたります。その後ずいぶん時を経て、漢字が日本語として使われだしたのが五世紀頃、そして六世紀に入り、聖徳太子は著書(法華義疏など)で漢文を日本語で解釈しています。そこからまた時を経て八世紀、正倉院文書にみられる万葉仮名が完成します。

万葉仮名はたとえば「阿」という漢字が持つ本来の意味を無視して、この漢字から「ア」という音だけを抽出し、日本語の音に当てるとする方法で、理屈の上からはどんな内容でも、どれほど長い文章でも日本語で綴ることが可能になります。でも見た目は漢字の羅列。文や言

葉の区切りがわからないと大変読みにくかったようです。でも和歌なら五七五七七というように五音や七音に句が分かれており、和歌であることを前もって知っておけば読むことができたようです。

そして平安時代に仮名は成立し、「古今和歌集」や「土佐日記」など文学作品も発達するようになったのです。そして仮名の典型の完成(理想の仮名)とされる「高野切(こうやぎれ)」は、平安時代後期、十一世紀に書写された「古今和歌集」の写本の通称で、その書風は仮名書道の最高峰として古来尊重され、日本書道史上もきわめて重要な作品として今に伝えられています(五島美術館蔵)。そこから十二世紀後期までを仮名の爛熟期とされ、十三世紀に入ると藤原定家は漢字と仮名が調和した明瞭な字を書いています。

以上が漢字が日本に伝わってきから日本独自の仮名文字へのだいたいの変遷です。その仮名の成り立ちによって生まれてきた古筆は、やっぱり読めないですけど今の私たち日本人にとっても、特別に大切なものであるという気がしてなりません。名児耶先生も仮名は日本人のア

イデンティティーだとおっしゃっていました。日本らしさ、日本人らしさを思うとき、腑に落ちるお話です。ちなみに文字の書体は、篆書(てんしよ)↓隷書(れいしよ)↓草書(そうしよ)↓行書(ぎょうしよ)↓楷書(かいしよ)の順に出来たそうです。楷書を崩したのが草書や行書では無いと言ったのは意外でした。そしてそのすべての書体が楽しめるお札は二千年札だけで、他のお札には楷書がありません。皆様も是非二千年札から楷書を探してみてください。意外なところにありますよ。

さて、現存の代表される古筆には「高野切(十一世紀中)」、「寸松庵色紙(十一世紀後)」、「華手下絵和漢朗詠集(十二世紀前)」があります。さらに本来冊子や巻物だったものを、古筆愛好熱の高まりにより切断されたものが「古筆切」です。近代(明治・昭和)切断されたものには、「継色紙」、「伊予切」、「戊辰切」、「昭和切」、「石山切」、「蓬萊切」、「松籟切」、「関戸本古今和歌集」、「久松切」、「山城切」、などがあります。どれを見ても簡単には読めません。その関門になっているのが変体仮名です。古い仮名文章においては「イ」の平仮名を書くのに「以」とか、「伊」とか、「異」に由来する字など様々な字が使われています。それがひとつの文章のなかで混用されることも多いです。特に、平安時代末期の美的効果が重視された作品では、単調さを嫌って多くの字体が用いられる傾向が強く、鎌倉時代以降の書でも一貫して平安時代ものが平仮名の手本とされてきたそうです。その理由のひとつには、美術作品としての表現手法だということで、書いた人に「読んでもらいたいと言う気は無いのか!」と言いたくなります。そこで名児耶先生は、助け舟を出してくれました。

それは仮名そして書そのものの美しさには日本人の美意識、すなわち自然との調和がこめられていることで、点で見る美しさ、線で見る美しさ、面で見る美しさがあるというポイントです。たとえば「栴色紙」を長谷川等伯の傑作「松林図」に重ね合わせると文字の配置が良く似ていたり、まるで絵画のように心で感じ、觀賞することも出来るのです。目からウロコ、お茶会でも使える本場に助かるお教えでした。

それではいよいよ実践。蓬萊切（ほうらいぎれ）を実際に読んで見ましょう。

於本曾良仁武礼多留太川
（おおそらにむれたるたつ）

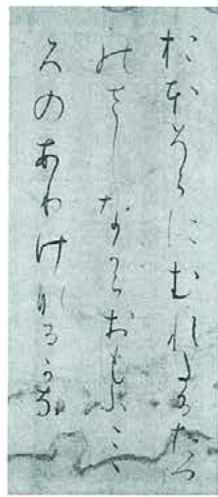
能左之奈可良於毛不己、

（のさしなからおもふここ）

呂乃安里計那留可奈

（ろのありけなるかな）

「大空に 群れる鶴の 指しながら 思ふ心の ありげなるかな」と、読みます。



どうです？漢字にとらわれるとまったく読めなくなってしまう、読めても推理を必要とする面白さ！難しいのではなく、面白い。なぜならそれは中国から来た漢字ではなく、日本人の美意識とアイデンティティーが詰まった仮名であるから。そう思えば古筆の觀賞は楽しい、というのが私の感想です。

後で名児耶先生と雑談させて頂いた折、現代の日本人と古筆の時代の人との会話は成り立つと思うか聞いてみると、あっさり「無理でしょうね」とおっしゃっていました。ならば急ぐことはない、まずは日本を心で感じてそれからじっくり味わえば良いんだな、と思えた講演でした。大変有意義に夏のひとときを過ごさせて頂きました事に、厚く御礼申し上げますとともに、ご報告とさせていただきます。（原 大策）

■第五回 九月五日（土） 「春夏秋冬の禅語にまつわる 一行の解説など」

講師・泉田 玉堂

（大徳寺五三〇世凌雲室老師親下）



あ・うんの数寄講座「茶の湯をさらに楽しむ夏季講座」も早くも最終回を迎え

ることになりました。第五回目は泉田宗健老師を講師にお招きして開催いたしました。

老師は早稲田大学卒業後、京都・大徳寺の立花大亀老師につき出家されます。大徳僧堂の中村祖順老師、次いで愛知県犬山市の瑞泉僧堂の松田正道老師につき印可証明を受けられました。平成五年より奈良県大宇陀在の大徳寺松源院に住まれ、裏千家学園茶道専門学校で講師もされております。

禅語というと理解しにくい世界であり、分かったような分からないようなものも多く、老師は、「湯上り女のみだれ髪」とくにとかれず、結うに結われず」と表現されていました。禅語に入るまでに、禅宗法系図の説明をされ、釋尊（シャカ）から始まり、初祖の菩提達磨、大徳寺開山の大燈国師など大徳寺の流れをお話になり、五家（松原派、黄龍派、楊岐派、南派、北派）七宗（南宗禅、北宗禅、沩仰宗、臨済宗、曹洞宗、雲門宗、法眼宗）の歴史を資料とともに分かりやすく、ご説明されました。

禅語にまつわる話として、釋尊の言葉、「拈華微笑」摩訶迦葉を後継者に決めた心境など、伝えることは本来文字に書くことも、教えることもできないという思い、達磨大師の「一華開五葉」に託された教え、そして達磨大師の教えがやがて五家七宗に繋がる老師の解釈、六祖慧能の有名な言葉「本来無一物」など、奥の深い言葉にたのしみ入るばかりでした。

季節の禅語では、「珊瑚枝々撐著月」月は珊瑚のために映しているわけではなく、珊瑚も映されているとは思ってないがお互いが引き立てあっている。また、「銀碗裏盛雪」二つのものが渾然一体となる姿、心は一つである。この二つは碧巖録に出てくる禅語ですが、とても美しいものだと思いました。

いものだと知りました。

老師のお話をする時の声、そして禅語をお読みになる時の声の違いには驚きました。重みのある気合を感じる声、その中から湧き出るようなパワーと優しさに圧倒され、自分自身まだまだ修行が足りない、もっと一生懸命に大切に生きなければと思いました。

何を聞いてもやさしい顔で答えてくださる老師にいくつかの質問をさせていたできました。

お寺に入ったのは、近世文学の泰斗である暉峻康隆（てるおかやすたか）先生の、芭蕉の講義を聞かれたことがきっかけだそうです。芭蕉の生きざまを、「孤独」と「寂寥」（せきりょう）という言葉でもって説明されていたように感じ、先生の講義は、当時の老師にとって救世主のように映ったそうです。

「老師にとって修行とは」の問いには、「同じことを繰り返すのが修行、そして利休は、禅の修行を座禅の代わりとして茶の湯を用いたのではないのか？しかし我々の生活の中で同じことを繰り返すことほど難しいことはない」と言われました。これまでそのことを実践されてきたからこそ出る言葉であると痛感しました。

ただ、難しい、読めない、意味が分からないと思つて、諦めていた私でしたが、泉田老師との出会いにより一歩踏み出す勇気をいただきました。また、少しでも読めたり、意味を知ることによっての楽しさと希望を伝えていただいたように思います。

人間は今も昔も変わらず同じようなことに悩み、苦しんでいることを知り、一体になり、心をつなぐ喜びはこれから先も続いていく大切なことと改めて感じました。このメッセージを心に刻み、これからも茶の湯を楽しんでいきたいと思ひます。（山本 亘）

人形劇研修所木偶塾

代表 今出洋子

私が人形劇と出会ったのは「ひよっこりひょうたん島」、小学生の頃でした。始まる時間が待ち遠しく、テレビにかじりついて見ていたような気がします。次に出会ったのは、二十数年後でした。子供達と一緒に観た生の人形劇（西畑人形芝居）、子供よりのめり込んで観ました。その面白さに、私もしようと始めた人形劇、とてもいい加減で、今思い出しても冷や汗ものです。でも、その観客と舞台との繋がり、テレビのように一方的で無く変化してゆく物語、それが私の心を捉え、今も続けてゆく原動力となっています。

「人形劇研修所木偶塾」（稽古場）は、西畑人形芝居三代目朝日若輝が、西畑人形を伝えたいという思いと、私を含めて学びたいという仲間、そして、全国から応援してくれる人、三木町で三百坪の土地を無償で貸してくれる方、皆の思いが集まって出来ました。

今、私達の活動は大きく四つあります。一つ目は「野掛木偶芝居」、七月の梅雨明けの暑い中、稲束を干すための「なる」を荒縄で舞台を組み野外で公演します。近所の人達が座布団、団扇を片手にやって来ます。今年で十八回目を迎えました。



二つ目は「でこまつり」です。全国から、色々な人形劇を楽しんでもらおうと企画しています。今年は、フランスからの特別公演です。

三つ目は「受け継がれてゆく伝統人形芝居IN三木」です。日本は伝統人形芝居の宝庫ですが、まだまだ知られていないものが多いのです。八王子車人形と西畑人形そして全国の伝統人形芝居を招いて公演してもらっています。

四つ目は「こども人形芝居教室」です。幼稚園から小学生までの子供達が月二回程度通って来ます。発声練習、セリフのしゃべり方、人形の持ち方、太鼓・拍子木・ツケの打ち方等習っています。この稽古で私達も学ぶ事が沢山あります。また、この稽古を通して子供達が礼儀作法やコミュニケーション力をつけて欲しいと思っています。



財団行事予定

（十二月～二月）

十一月

◆書道教室 毎月第一・第三金曜日

森本義人先生

十二月四日・十八日（金）午前十時～十二時

◆和菓子講座 高橋初乃先生

十二月十一日（金）午前十時～十二時

◆十二月月鑑 五人様茶会

日時 十二月十三日（日）

処 美藻庵 晴松亭（当財団茶室）

席主 濃茶 表千家流 平田宗経

煎茶 一茶庵 嶋谷光玉

茶席 濃茶・煎茶・点心席

会費 五千円

入席時間ご案内（各席二時間十五分を予定）

第一席 A席・B席 九時

第二席 A席・B席 十時三十分

第三席 A席・B席 十一時十五分

第四席 A席・B席 十二時四十五分

第五席 A席・B席 十四時十五分

月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日

十二月十五日（火）午前十時～午後四時迄

自由なお時間にお出掛け下さい。

ランチは要予約です。

◆ヤングヤング（子供茶の湯講座）

毎月第二・第四土曜日

山下純子先生

十二月十二日・二十六日（土）午前十一時～

◆初釜

大茶会の財団席を担当して頂いた裏千家

の高畑先生と山本先生が點初めのお席を

設けてくださることにになりました。

「申年の初めを寿ぎ御茶一服差し上げ

たく心よりお待ちしております。」と席

主のメッセージと合せてご案内致します。

好例の福引もありますのでお楽しみに。

日時 一月五日（火）

処 美藻庵 晴松亭（当財団茶室）

席主 濃茶 裏千家 山本宗佳

薄茶 裏千家 高畑宗稔

茶席 濃茶・薄茶・点心席

クロワッサン鯛焼き

寒くなると暖かいスイーツが欲しくなります。昔からこの季節のスイーツの定番といえば大判焼きと鯛焼きです。

最近スーパーの前や屋台で気になるのがクロワッサン鯛焼き。鯛焼きの生地といえばパンケーキが定番ですがクロワッサンということはパン生地です。

あの柔らかいパンケーキ生地が優しい食感を与えてくれる鯛焼きですが、クロワッサンだとどうなるのでしょうか。

今回は近所のスーパーの前で購入してみました。屋台のお兄さんに話を聞くと、鯛焼きでは定番の餡よりもチョコやカスタードクリームのほうが人気があるそうで、年配の方よりも若い主婦に人気があるそうです。

暖かいうちにいただくと、周りのクロワッサン生地がサクサクと鯛焼きの和菓子の食感ではなく、ほとんど洋菓子をいただいている感覚です。

冷めてもパイ 饅頭のようなで美味しく味わえるのが新鮮な感覚のクロワッサン鯛焼きでした。



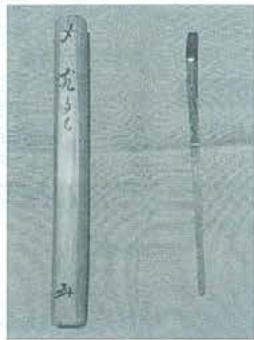
くにももの(20)

茶杓と茶杓筒

師走の声とともに喪中葉書が届くようになり、故人をしのびながら過ぎゆく時の早さに驚かされます。古田織部が利休の茶杓「泪」を位牌仕立ての筒におさめて挿んだという逸話は有名ですが、茶杓筒は手作り茶杓の銘、作者名、花押などを記して蓋の目玉に「メ」の封印を施した、いわば送り状、茶人の交友を示す一面を持つとか。

昔、新聞連載を上梓した出版祝いに、この初夏に急逝された後藤重美さんからいただいた自作の茶杓も、作法通りに客たちの銘、恋愛庵の作者名、五トを象形化した花押、詰蓋にメ印を墨書した茶杓筒に納められていました。

よく、無機質な品物に人の面影を重ねることがありますが、歳の瀬も間近、權先を大らかにためた茶杓で掬って点てた薄茶を唇手の茶碗で自服しながら、改めて、これまでのご親切に感謝しながら師走のひとときを過ごしました。



現代社会は、携帯やパソコンなど人と人が繋がっているように見えて、実際はとも希薄になってきています。そんな社会に人形劇から豊かな心を育てる、自分の心を伝える力をつけてもらいたいのです。

そして今、平和だからこそ出来る人形劇活動、幸せを噛み締めて、高知で生まれた西畑人形が三木人形となる様、続けてゆきます。

「受け継がれてゆく伝統人形芝居IN三木」
日時 平成二十八年二月二十八日(日)
午後二時開演
会場 三木町文化交流プラザ 小ホール
出演 八王子車人形西川古柳座
金多豆蔵人形芝居
西畑人形朝日若輝一座
お問合せ 電話〇八七―八八―九二二二



一月

会費 八千円
入席時間と案内(各席十五名)
第一席 九時 第二席 九時五十分
第三席 十時 第四席 十一時三十分
第五席 十二時 第六席 十三時三十分
第七席 十四時 第八席 十四時五十分
各席二時間三十分を予定
◆和菓子講座 高橋初乃先生
一月八日(金) 午前十時〜十二時
◆書道教室 森本義人先生
一月十五日・二十九日(金) 午前十時〜十二時
◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
一月十九日(火) 午前十時〜午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。
◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
一月九日・二十三日(土) 午前十一時〜
◆一月月金 五人様茶会
日時 一月三十一日(日)
処 美藻庵 晴松亭(当財団茶室)
席主 濃茶 武者小路千家 大内守雄
薄茶 武者小路千家 中條晴之
点心 果産品特製料理 永楽亭
茶席 濃茶・薄茶・点心席
会費・入席時間 十二月五人様茶会と同様

◆懷石講座 三友居 山本勝先生
二月二日(火) 午前十一時・午後三時
◆書道教室 森本義人先生
二月五日(金)・十九日(金) 午前十時〜十二時
◆和菓子講座 高橋初乃先生
二月十二日(金) 午前十時〜十二時
◆月に一度の喫茶室 毎月第三火曜日
二月十六日(火) 午前十時〜午後四時迄
自由なお時間にお出掛け下さい。
ランチは要予約です。
◆ヤングヤング(子供茶の湯講座)
山下純子先生
二月十三日・二十七日(土) 午前十一時〜

「月に一度の喫茶室」以外は予約が必要が必要です。お申し込み、お問合わせは、当財団事務局まで(水曜日休館)
高松市番町二丁目一十二

☎(087) 8299・3315

茶 華 道 ガ イ ド

表千家同門会香川県支部 ☎(087)845-4638

2/14 東讃四季茶会 席主：山内紀子
中條文化振興財団 600円 9:00~15:00

香川大学表千家流茶道部 ☎(090)4971-0139

12/20、1/17、2/21
月釜 龍光塾 500円 10:00~14:00

香川いけばな連盟 ☎(087)821-4347

1/26~31 第35回香川いけばな連盟展 三越新館5階催物会場
当日500円 10:00~19:00(28、31日は17:00まで)

琴平月釜茶会 ☎(0877)58-9551

12/5~6 琴平町歳末助け合い茶会
席主：田中宗武、片桐宗恵、上杉宗邦、宮武宗隆
町総合センター 200円 10:00~15:00

茶道裏千家淡交会香川支部 ☎(0877)58-9551

12/5~6 善琴分会 歳末助け合い茶会
席主：田中宗武、片桐宗恵、上杉宗邦、宮武宗隆
総合センター 200円 10:00~15:00

12/6 丸亀分会 月釜 席主：藤川宗恵
生涯学習センター 500円 10:00~15:00

12/13 坂出分会 月釜 席主：綾宗美
翠松閣 500円 10:00~14:00

12月 観音寺分会 歳末茶会 席主：観音寺教授者
働く婦人の家 500円 10:00~15:00

12/20 善琴分会 月釜 席主：山下宗由
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

1/24 坂出分会 月釜 席主：綾野宗洋
勤労福祉センター 500円 10:00~14:00

2/14 善琴分会 月釜 席主：香舛会
樟蔭軒 500円 9:00~14:00

茶道裏千家淡交会高松支部 ☎(087)861-3136

12/13 高松青年部チャリティー茶会
席主：高松青年部 中野天満宮 天神会館
前売1,000円・当日1,100円 9:00~15:00

1/17 第62回日本伝統工芸展協賛茶会
席主：國方宗綱、岡宗久
香川県立ミュージアム 600円 9:30~15:30

2/7 月釜 席主：阿河宗美
中野天満宮 天神会館
前売600円・当日700円 9:00~15:00

三笑亭賣茶流高松支部 ☎(087)833-0347

1/16 第62回日本伝統工芸展協賛茶会
席主：長嶋恵子 香川県立ミュージアム
ホール 600円 9:30~15:30

石州流讃岐清水派石州会 ☎(087)898-6569

12/1 栗山奉賛茶会 席主：安部宗野・大林宗清
牟礼町宮北公民館 300円 9:30~15:00

武者小路千家香川官休会 ☎(087)851-2258

1/17 香川官休会月釜 席主：在松会
無量寿院 600円 9:00~15:00

栗林公園内花園亭 ☎(087)831-5255

2/7 花園亭節分茶会
席主：武者小路千家 三好宇太郎
3,000円(節分点心付) 9:00~15:00

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎(087)879-0717

<由佐城月釜茶会> 第2研修室
前売400円・当日500円 9:30~14:00

12/20 席主：上里宗美(茶道石州流宗家高松会)
2/21 席主：真子宗博(表千家)

中條文化振興財団 ☎(087)826-3355

12/13 12月月釜 五人様茶会 5,000円
席主 濃茶 表千家流 平田宗経
煎茶 一茶庵 嶋谷光玉

1/5 初釜 8,000円
席主 濃茶 裏千家 山本宗佳
薄茶 裏千家 高畑宗稔

1/31 1月月釜 五人様茶会 5,000円
席主 濃茶 武者小路千家 大内守雄
薄茶 武者小路千家 中條晴之

以上の茶会はいずれも点席を含みます。
詳細は、財団行事予定をご覧ください。

イ ベ ン ト ガ イ ド

坂出市民ホール ☎(0877)45-1505

12/13 第42回 坂出市市民芸術祭日本舞踊公演
11:00~●

1/31 絹舞会 おどりの会 時間未定●
2/6~7 花き展示品評会 9:00~●

坂出市民美術館 ☎(0877)45-7110

12/5~13 坂出市民美術展覧会 9:00~●
1/8~24 一孤高の画人 雨宮典正展 併催 ふしぎ
naたね 2016 Winter展 9:00~●

1/11 美術館セミナー
明石安哲×田中未知子 14:00~●

1/29~30 坂出市保育所ブロック会
「第45回幼児画展」 9:00~●

2/6~7 生活文化展 9:00~●
2/11~14 第36回毎日児童生徒書き初めコンクール 9:00~●

かまどホール ☎(0877)46-2178

12/5~27 ステンドグラス展 大豊俊子と「ら・創夢」
教室展 10:00~●

1/2~31 近藤裕美子 七宝作品展 10:00~●
2/6~28 谷本重義 洋画6人展 10:00~●

サクラートだつ(多度津町民会館) ☎(0877)33-3330

12/6 広瀬香美アコースティックコンサート
「香美別邸2015」 15:30~●

12/20 多度津町立多度津中学校吹奏楽部第2回アン
サンブル発表会 2Fホワイエ 10:00~●

1/24 ほっとコンサート! Vol.9 林家菊丸独演会
リハーサル室 13:30~●

2/13 劇団四季ファミリーミュージカル
「人間になりたがった猫」 18:00~●

2/15 綾小路きみまろスーパーライブ 14:00~●
2/28 子ども新体操教室発表会 13:00~●

丸亀市文化観光課 ☎(0877)24-8822

12/5 丸亀市合併10周年記念 平成27年度まるがめ
文化芸術祭主催公演 能楽の祭典
大ホール 第1部9:30~●、第2部15:30~●

<丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る音楽フェスト>
12/13 2015まるがめ第九プレコンサート
本願寺塩屋別館 14:00~●

12/20 2015まるがめ第九演奏会
丸亀市綾歌総合文化会館大ホール14:00~●

丸亀市文化協会 ☎(0877)24-8822

12/5 平成27年度まるがめ文化芸術祭主催公演
「能楽の祭典」

第1部 第22回香川県能楽会合同謡曲会
丸亀市民会館大ホール 9:30~●

第2部 観世流 能「望月」古式
丸亀市民会館大ホール 15:30~●

2/17~28 香川県文化協会西讃支部 美術展 9:30~●
「絵画」：丸亀市生涯学習センター1Fギャラリー
「書」：丸亀市立資料館1F

「写真」：丸亀市立資料館2F
3/5~4/3 関正和展 郷土丸亀出身の洋画家で、自由
美術協会会員である関正和氏の作品約30点
を一堂に会する展覧会

丸亀市立資料館 ●
3/6 名作映画まつり「本日休診」、「喜劇・女
は男のふるさと」、「駅前旅館」
懐かしい映画を3本上映
丸亀市生涯学習センター大ホール 10:30~●

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ☎(0877)24-7755

~12/6 [企画展] 猪熊弦一郎展
みんなで伝える、好きになる 10:00~●
会期中の日曜 キュレーターズ・トーク 14:00~●

~12/13 [常設展] 猪熊弦一郎展
初期の風景画 10:00~●

12/20~3/27 [企画展] 愛すべき世界 10:00~●
12/20作家によるギャラリー・トーク 14:00~●
会期中の日曜(12/20除く)
キュレーターズ・トーク 10:00~●

12/20~3/27 [常設展] 猪熊弦一郎展(仮称) 10:00~●

丸亀市綾歌総合文化会館(アイレックス) ☎(0877)86-6800

12/20 丸亀ドイツ兵俘虜楽団の足跡を辿る音楽フェスト
2015まるがめ第九演奏会 大ホール14:00~●

2/21 第19回あやうた音楽祭
内容：地域合唱団等、音楽団体によるジョ
イントコンサート 大ホール 13:00~●

丸亀市民会館 ☎(0877)23-4141

12/5 まるがめ文化芸術祭2015 能楽の祭典 大ホール
第1部 第22回香川県能楽会合同謡曲会 9:30~●
第2部 観世流能「望月」 15:30~●

12/13 30周年記念 島津亜矢コンサート2015
大ホール 13:00~17:00~●

12/25 アンサンブルの輪 大ホール 10:00~■
1/31 美しき日本~音楽で綴る春夏秋冬
大ホール 14:00~★

2/11 「香川吹奏楽の日」演奏会 時間未定■
大ホール

2/14 第14回 まるがめ クラシックギャラリーコ
ンサート 大ホール 14:00~●

2/21 新春・和の祭典 時間未定■
大ホール

ぎやらりいホール ☎(0877)86-2112

12/7~14 綾歌絵画研究会展 油絵、デッサン等
約60点 10:00~■

灸まん美術館 ☎(0877)75-3000

12/4~8 第5回うらしま・大見書道サークル作品展
9:00~■

12/11~15 柚本華風水墨画展 9:00~■
12/18~23 漆・木彫こもの展 9:00~■

1/1~5 3人展 9:00~■
1/8~12 頑張る五人展 9:00~■

1/15~19 ペインティングクラブマルチフ
ールイベント展 9:00~■

1/22~26 古井敏博絨織展 9:00~■
1/29~2/2 わやきば展 9:00~■

2/5~9 三好厚男作陶展 9:00~■
2/12~16 北添繁幸彫刻展 9:00~■

2/19~23 森光男洋画展 9:00~■
2/26~3/1 中央絵手紙教室作品展 9:00~■

イベントガイド

香川県立ミュージアム ☎ (087)822-0002

- ~12/25、1/2~4/3
アート・コレクション 20世紀の美術
常設展示室2 9:00~●
- ~1/31
申・さる 新しい年を迎えて
常設展示室1 9:00~●
- 12/5~24 アート・コレクション 版画あれこれ
常設展示室4・5 9:00~●
- 12/6 はじめてのキュビズム 研修室 13:30~●
- 12/12~17 県展80周年記念事業「ヤング・パワー」
高松市教育文化祭展覧会 9:00~●
- 12/19~24 県展80周年記念事業「小中学校の県展-香川県
小・中学校総合文化祭展覧会-」 9:00~●
- 1/2~17 第62回 日本伝統工芸展 9:00~●
- 1/9 ファミリーワークショップ うるしに
チャレンジ 研修室 9:30~、14:00~●
(保護者は展覧会観覧料が必要)
- 1/16 ミュージアムワークショップ
はじめての七宝 実習室 13:00~●
- 1/10 講演会「未来をひらく伝統工芸-動き出す友禅-」
講師:森口邦彦 講堂 13:30~●
- 2/5~4/3 いれもの 常設展示室1 9:00~●
- 2/14 ミュージアムプレゼンテーション2016
研修室 13:30~●
- 2/20、21 高松張子づくり 研修室 13:30~●
- <瀬戸内海歴史民俗資料館>
~12/20 「里海」からのメッセージ
一海ごみと寄り物 9:00~●
- ~2/28 新指定記念特別公開展
西日本の背負運搬具 9:00~●
- 12/22~2/28 小豆島雲場資料展 9:00~●
- 2/6 れきみん講座 小豆島雲場調査から
研修室 13:30~●

アルファあなばきホール ☎ (087)823-3131

- 12/1 舞台「三匹のおっさん」
大ホール 13:30~●
- 12/12 小曾根 真 クリスマス・ジャズコンサート
大ホール 18:00~●
- 12/23 シルヴィ・ギエム ファイナル
大ホール 17:00~●
- 1/10 かがわ・F・チェンバーオーケストラ
第1回演奏会 小ホール 14:00~●
- 2/5 香川県文化芸術新人賞受賞記念コンサート
(東川曉洋) (筒井志帆) 小ホール 18:30~●
- 2/11 第16回香川ジュニアコーラス・フェスティ
ヴァル2016 大ホール 13:30~●
- 2/26 香川県文化芸術新人賞受賞記念コンサート
(岡田昌子) 小ホール 18:30~●
- 3/9 オペラ「夕鶴」 大ホール 18:30~●

高松市歴史資料館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4520

- 2/6~3/21 企画展「讃岐医人伝-合田求吾から・柏原
謙益・神内由己達まで-」
企画展示室 9:00~●

<石の民俗資料館>

- 1/5~31 高松市合併10周年記念 合体インフォメ
ーションから10年のアキホタター-高松市と牟
礼町合併からのその後- 9:00~●
- 2/13~3/13 企画展「残された石の声-石がつな
ぐ小豆島と大阪城- (仮称)」 9:00~●

<讃岐国分寺跡資料館>

- 1/26~3/13 企画展「万葉の花II」 展示室 9:00~●

<香南歴史民俗郷土館>

- 1/22~2/17 第15回篆刻展 9:00~●

2/20~3/20 郷土の文化拓本展

新池寛記念館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4502

- <各月の文芸講座>3階第1集客室 13:30~●(先着70人)
- 12/5 「歌木節と万葉集」 講師:東城敏敏
- 1/9 「ずいひつ」文章教室」の現場から」
講師:篠永哲一
- 2/6 「写楽にこめられた謎-高松藩裏美術史-」
講師:田山泰三
- 3/5 「翻訳で日本の文化を海外へ そのプロセスと意義」
講師:平野キャシー

高松市中央図書館(サンクリスタル高松) ☎ (087)861-4501

- 12/23 「冬のおたのしみ会」 内容:手遊び、大型
紙芝居、人形劇、朗読劇など
3階視聴覚ホール 14:00~●

高松市生涯学習センター ☎ (087)811-6222

- 12/1 純銀粘土でつくるエシカルクラフト講座
~純銀ペンダントをつくろう~
実習室 13:30~●
- 12/3 水引で彩る 手作りお年玉ポチ袋
実習室 13:30~●

- 12/4 七宝焼で作る素敵なアクセサリ教室
~オパール風ネックレス~ 音楽室 13:30~●
- 1/7、21、2/4、18、3/3、17
やさしい切り絵教室 実習室 10:00~●

高松テルサ ☎ (087)844-3511

- 1/17 第7回四国ジュニア・ピアノコンクール
受賞記念披露コンサート
ホール 9:00~●

栗林公園観光事務所 ☎ (087)833-7411

- 2/20、21 第9回栗林公園 梅まつり
栗林公園内梅林 10:00~●

玉藻公園 ☎ (087)851-1521

- 12/1~1/31 「まっぽっくりリツリー」の展示 水門付近
- 12/18~27 高松メディアアート祭2015 披露間
1/1~3 新年無料開放 園内
- 1/1 大正琴コンサート 披露間
- 1/2 第5回新春書初め大会 披露間
- 上方舞「茶音頭」ほか 披露間
- 1/3 第8回高松城新春かるた大会 披露間
- 1/4~17 新春書初め展 披露間
- 2/6 菊作り講習会 披露間

ミュージアム ☎ (087)833-0013・0014

- 12/12 香川大学ギターアンサンブル定期演奏会
18:00~●
- 12/19 香川大学合唱団 第59回定期演奏会
時間未定●
- 2/11 第4回 香川高等学校応援フェスティバル
12:50~●

香川県文化芸術局 文化振興課 ☎ (087)832-3785

- 2/11~21 さぬき映画祭2016 情報通信交流館 eと
びあ・かがわ、イオンシネマ高松東、綾川、
宇多津ほか 時間・料金未定

高松市文化芸術振興課 ☎ (087)839-2636

<サンポートホール高松>

- 12/19 よんでんアンサンブル
親子のためのクリスマスコンサート
第1小ホール 14:00~●
- 2/7 高校演劇フェスティバル 大分県立大分豊
府高等学校「うさみくのお姉ちゃん」
第1小ホール 13:00~●

<高松国分寺ホール>

- 12/12 みんなで楽しむヨーガ教室 14:00~●
- 12/23 陸上自衛隊第14音楽隊
クリスマスコンサート 14:00~●
- 1/23 映画上映会「ペコロスの母に会いに行く」
10:30~、13:30~●
- 1/30 農村歌舞伎「祇園座」公演 13:00~●
- 2/13 ピアノリレーコンサート 9:00~●

NHKふれあいギャラリー ☎ (087)825-0160

- 12/1~6 第9回 NHKカルチャー教室漢字書道作品展
9:30~●
- 12/8~13 第2回 かがわ光画倶楽部写真展 9:30~●
- 12/15~20 第3回 フォトなかよし会写真展 9:30~●
- 1/5~10 第33回 香川風の会写真展 9:30~●
- 1/12~17 第59回 (平成27年度) JA共済全国小・中
学生書道コンクール 香川県予選入賞作
品展示会 全国共済農業協同組合連合会
香川県本部 (JA共済連香川) 9:30~●
- 2/2~7 讃岐彫 一宮讃岐彫同好会 9:30~●
- 2/9~14 私達の写真展 フォトクラブ彩光 9:30~●
- 2/16~21 『自然風景と生活のある風景を撮る!』
第4回香川写真好クラブ写真展 9:30~●
- 2/23~28 第20回記念 創祥会書道作品展 9:30~●

桜ショップ高松店 ☎ (087)831-8866

- 1/14~20 「藤代光雄 創作雛人形展」 一乃彫に古
代製を木目込みしたり彩色を施したお雛様
10:00~●

ギャラリーen ☎ (087)851-3711

- 12/8~12 てんでこ舞 お正月飾りと小物フェア
社のとなり 10:00~●
- 1/21~24 おひるめ展 新作着物の展示
ギャラリーen 10:00~●

珈琲倶楽部 榎 ☎ 087-823-0160

- 12/1~13 大切な方に思いを馳せて クリスマスの贈
りもの (ドールハウス・ブローチ・モンキ
ーの置物等) 10:00~●

内町ギャラリー Tamamo ☎ (087)822-1037

- 12/1~6 煌めきのビーズデコジュエリー&小物展
エレガンスローズのMAKO先生と生徒た
ちのアクセサリから小物までの作品展
10:00~●
- 12/9~13 「FUR new collection ~ SUN RASCAL」
東さぬき市津田将志の工房から。毛皮のマフ
ラー、コート、バッグの作品展。10:00~●
- 12/15~20 「旅人 尾藤正樹2015年展」 メキシコ、仏
独、中国、東北地方等のスケッチ作品展。
無料お絵かき教室同時開催 (先着20名様)
10:00~●
- 12/23~24 Quilt House Basil ギャラリー展
パッチワーク作品展 10:00~●
- 1/13~17 「FUR collection ~ SUN RASCAL」 10:00~●
- 2/15~19 「ももたろう」生活骨董展
「お雛さま」を展示 9:00~●

高松市香南歴史民俗郷土館 ☎ (087)879-0717

<2F市民ギャラリー>

- 12/12~1/7 企画展「平成26年度 遺跡発掘調査速報展
~稲荷山姫塚古墳を中心に~」 9:00~●
- 1/9 企画展関連講演会「古代のハイテク積石術」
講師:波多野 篤 (高松市埋蔵文化財センター)
第1研修室 10:00~●
- 1/22~2/7 企画展「第15回 篆刻展」 9:00~●
- 2/21~3/20 企画展「第15回 郷土の文化拓本展」 9:00~●

高松市塩江美術館 ☎ (087)893-1800

- ~12/13 (企画展) Adam Weston - 生命の鼓動-
9:00~●
- 12/12 (企画展関連) 中村隆子
テルミンコンサート 17:30~●
- 12/19~27 戸田由美子 写真展
インスピレーション 9:00~●

高松市石の民俗資料館 ☎ (087)845-8484

- 12/4~13 共催展「師走展」 企画展示室 9:00~●
- 12/11、1/8、2/12
古文書を読む会 (8)~(10) 江戸時代の和
歌等を読み解いて
講師:加藤 優 (讃岐共済会郷土博物館・館長)
講座研修室 14:00~●教材費要
- 12/19 長船伸夫バリエーションリサイタル
~父娘で贈るイタリアのタベ
エントランスホール 18:30~●
- 1/5~31 高松市合併10周年記念企画展「さぬきア
ートプロジェクト 合体フォーメーションか
ら10年のアキホ・タター-高松市と牟礼町合
併からのその後- 企画展示室 9:00~●
- 1/9~31 ホール展「収蔵品展 (仮)」
エントランスホール 9:00~●
- 2/13~3/13 共催展「残された石の声-石がつなぐ小豆
島と大阪城- (仮)」 (徳島文理大学
文学部学生による展覧会)
企画展示室 9:00~●

土庄町教育委員会 ☎ (0879)62-7013

- 12/13 土庄町音楽フェスティバル
土庄町立中央公民館 13:00~●

和の店「遊」 ☎ (0879)75-0037

- 12/1~18 市松人形展示会 13:00~●
- 12/21~1/29 貴志 勉 作陶展 13:00~●

さぬき市教育委員会生涯学習課 ☎ (0879)42-3107

- <さぬき市美術展覧会>21世紀館さがわ 9:00~●
- 1/20~31 第1期
- 2/3~14 第2期
- 2/17~28 第3期

さぬき市志度音楽ホール ☎ (087)894-1000

- 12/20 志度音楽ホール少年少女合唱団
第23回定期演奏会 14:00~●

坂出市建設経済産業課にぎわい室 ☎ (0877)44-5015

- 12/20、1/17、2/21 慈運の帝 崇徳上皇の足跡を追う
坂出市観光案内所 9:30~●
- 2/13~14 第26回坂出天狗まつり 松山小学校、JA香川
県松山支店、相模坊、白峯寺、林田運動公園
11:00~●
- 14日:第22回坂出天狗マラソン大会
林田運動公園 9:00~●
- 2/20 循環バスで行く さかいでの昔話を探そう
坂出市観光案内所 9:00~●
- 2/28 さかいで里山めぐり・冬の城山編
坂出市観光案内所 9:00~●
- 3/5 さかいで里山めぐり・常山編
坂出市観光案内所 10:00~●

■財団の活動報告とお知らせ

中條文化振興財団

中條文化振興財団・文化活動奨励事業

去る十月五日（月）、当財団において、平成二十七年財団賞授賞式及び助成金交付団体認定書授与式を行い、岡市代表理事より賞状及び認定書を贈呈致しました。

今年度の財団賞は、東かがわだんじり子供歌舞伎保存会（東かがわ市教育委員会推薦）と、細谷隆治氏（当財団理事千葉規美子氏推薦）が受賞されました。

東かがわだんじり子供歌舞伎保存会は、文献史料上は天保十四年に確認されている「だんじり子供歌舞伎」を後世に伝えるべく活動をされています。「だんじり芸」と呼ばれ、移動可能な舞台（だんじり）上で子供達が歌舞伎を演じ、白鳥神社の春季大祭で奉納されています。

細谷氏は、人形師として浄瑠璃人形の制作や修復に取り組み、香川の浄瑠璃の発展を願って無償で人形の修理や寄贈、また、人形制作の後継者を育てるべく邁進されておられます。



浄瑠璃の発展を願って無償で人形の修理や寄贈、また、人形制作の後継者を育てるべく邁進されておられます。

平成二十八年度

助成金応募受付中

■対象事業

平成二十八年四月一日から平成二十九年三月三十一日までに実施予定の文化事業。詳しくは助成基準をご覧ください。

■応募の方法

財団所定の助成金交付申請書を提出してください。（HP参照）
応募締切は、平成二十八年一月末日。

審議委員会による書類審査を行い、必要があればプレゼンテーションを開催。
平成二十八年三月末までに結果をご連絡致します。

■助成金

三十万円を限度とし、活動に応じた金額を審議委員会が決定致します。

助成基準、所定の申請書等は、当財団ホームページよりご確認いただくか、事務局までお問合せ下さい。

陽明文庫の茶杓筆筒を見学

十一月六日。紅葉のシーズンが始まったばかりの京都に、晴友会の研修旅行に行つて参りました。多くの国宝などを所蔵される陽明文庫の名和先生にお願いして、今回は特に「茶杓筆筒」に入ると三十一本のすべてを展示していただきました。近衛予楽院のコレクションで、後西天皇の茶杓を始め、紹興、利休、宗旦は言うに及ばず宗和、遠州、織部など、それぞれの茶風を一目瞭然に観ることが出来ました。もちろん国宝の「御堂関白日記」などもご説明下さり、ガラス越しでなく直に拝見させていただきました。



一年、納めの月になりました。今年もいろいろな事がありました。中でも喜ばしいことは、ノーベル賞が日本人研究者に与えられたことでしょう。長年の地道な研究が認められ、また、その研究内容が世界中に発信されることが、より大きな後押しとなることでしょう。

編集後記

ここ香川でも地道な活動をされている個人や団体、また、新たな取り組みを始めようとしている方々がいらつしやるでしょう。当財団にも財団賞や助成金制度等があります。どうぞ、これらの制度を活用してください。

新しい年も、当財団から文化の発信の後押しができますようにと願っています。

「声・情報お寄せください」

〒760-0017 高松市番町二丁目一―二
公益財団法人 中條文化振興財団編集部
TEL (087) 826・3355
FAX (087) 826・2212
info@chujo-zaidan.or.jp